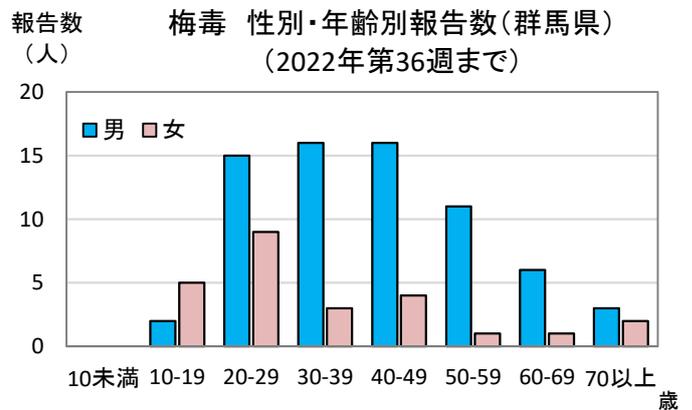
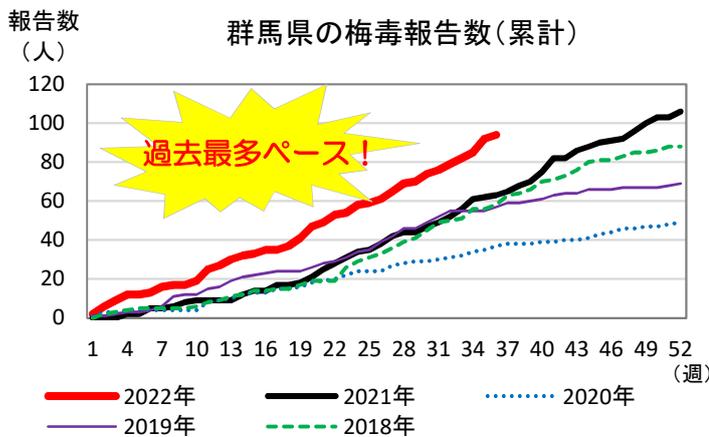


梅毒の報告が過去最多ペースで増加しています。

◆ 今流行っているの？

- 群馬県では2022年第36週（～9月11日）までに**94件**の報告がありました。これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった2021年の同時期（63件）を大きく上回る報告数です。
- 全国の報告数も過去最多ペースとなっています。



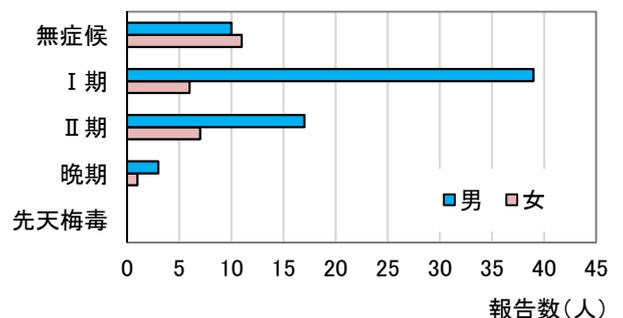
◆ どんな病気？

- 梅毒トレポネーマという病原菌による感染症で、**性的接触などで感染**します。
- 感染後数週間の潜伏期を経て、病期により様々な症状が出ます。
- 早期治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。
- 妊婦が感染すると胎盤を通して胎児に感染します。

【症状の経過】

- 第Ⅰ期：(約3週間後) 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこりができ、やがて潰瘍を生じる
- 第Ⅱ期：(約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる
- 晩期：(数年後) 心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、場合によっては死亡に至ることがある

届出時病型(群馬県 2022年36週まで)



◆ 症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう！

保健所では性感染症の相談・検査を**無料・匿名**で行っています
保健所（県保健福祉事務所、市保健所）までお問合せください

- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.gunma.jp/02/d2910001.html>

